

札幌市立日章中学校の取組

1. 研究のねらい

本校は、生徒会を中心としてボランティア活動に力を入れている学校であり、その活動の一環として地域の高齢者宅の排雪、1月中旬、3月中旬には、阪神淡路大震災、東日本大震災の犠牲者を追悼してスノーキャンドルの作成、また、卒業期には雪を使用したお祝いのメッセージを作成している。

排雪活動を通して地域住民との繋がりを、スノーキャンドル作成を通して防災意識を、卒業のメッセージ作りを通して愛校心を育みたいと考えている。その活動の全てが、雪国でしかできない活動であり、その活動を通して札幌という地域に対しての愛着も深めていきたい。

2. 取組内容

(1) 排雪活動

本校生徒会執行部は東札幌まちづくりセンターと連携し、排雪活動を毎年2月上旬に行っている。まちづくりセンターには、東札幌地区のどの高齢者宅に伺い、活動を行うか、排雪に必要な資材の貸し出しなどご協力をいただいている。また、青少年健全育成委員の方々にも排雪後の参加生徒に温かい食事をご用意していただくなど多大なるご協力をいただいている。

生徒会執行部が中心となり、2年生に呼びかけをし、参加生徒は任意で参加している。部活動に加入している生徒の参加が多く、毎年50名前後の生徒の参加がある。また、生徒総会では、「なぜ2年生しか参加できないのか？他学年も参加できるようにしてほしい。」という意見が毎年のように出るなど参加に対する意欲は高い。



(2) スノーキャンドルの作成

生徒会執行部が1年生に参加生徒を募集し、阪神淡路大震災があった1月17日付近、東日本大震災があった3月11日付近に、スノーキャンドルを作成している。

・作成方法

バケツと塩ビ管を用意し、バケツの中心に塩ビ管を置き、雪を水で湿らせながら詰め込んでいく。バケツ一杯まで詰め込むことができたなら、中心の塩ビ管を抜き逆さまにしてバケツを置く。バケツを取れば、ドーナツ型の雪でできた柱ができる。中心部の空洞にロウソクを置いて火を灯せば完成。詳しくは、以下のサイトをご参照ください。



(<http://www.machikon.net/photo/wakkyanight/snowcandle-howto.pdf>)

(3) 卒業を祝うメッセージ作成

生徒会執行部を中心とし、3月10日前後に右の写真のような卒業を祝うメッセージを作成している。基本的には、雪を削る、踏み固める等して「祝 卒業」等のメッセージをグラウンドや正面玄関前に作っている。今年度は、まだ未実施だが、正面玄関前で3月10日に実施予定である。



3. 成果と課題

(1) 成果

・排雪活動

誰かに感謝されたという経験が乏しく「ありがとうと言われて嬉しかった。」といった声が、生徒たちからは1番多く聞かれる。排雪活動後の学校生活においても、誰かにために行動を起こせる生徒が増えているように感じている。

・スノーキャンドル作成

防災意識を高めると共に、日本を襲った未曾有の大災害についても記憶を風化させてはいけないといった観点からも、生徒たちに考えるきっかけを与えることができた。

・卒業を祝うメッセージ作成

活動に参加している生徒は主に生徒会執行部の生徒になるが、メッセージの作成後には学校全体として在校生全員で卒業を祝う雰囲気醸成されているように感じる。

(2) 課題

・排雪活動

生徒の自己有用感を高めることができた取組となった。日常の学校生活全般を通じて、自己有用感を高めることができるような教育課程を模索していくことが今後も必要である。また、活動を通して地域の方との交流ができたが、その後において積極的に交流する場があまりないのが現状である。より地域住民との交流を深めるために、学校においても地域住民の方々と交流する場を作る必要がある。

・スノーキャンドル作成

天候に左右される部分が大きく、今年度の第1回の実施では猛吹雪の中、作成・点灯を行っていた。参加生徒の中には風邪により体調を崩す生徒もおり、健康管理という観点から実施判断も含めて、より一層、留意していかなければならなかった。

・卒業を祝うメッセージ作成

一部生徒の参加により実施されているが、今後に向けては、メッセージ作成段階から多くの生徒の参加により全校一体となった取組にしていければと考える。具体的には複数箇所にメッセージの作成をしていきたい。